



ENEOS

2021年12月1日
ENEOSホールディングス株式会社

第56回ENEOS児童文化賞・第51回ENEOS音楽賞 表彰式開催！

2021年11月19日(金)パレスホテル東京で開催

- 第56回 ENEOS児童文化賞 : 田島 征三 氏 (絵本作家)
第51回 ENEOS音楽賞 邦楽部門 : 清元 美寿太夫 氏 (清元節浄瑠璃方)
第51回 ENEOS音楽賞 洋楽部門 本賞 :
滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールと沼尻 竜典 氏
第51回 ENEOS音楽賞 洋楽部門 奨励賞 : 広島交響楽団 (オーケストラ)

ENEOSホールディングス株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長:大田勝幸)は、「第56回ENEOS児童文化賞」および「第51回ENEOS音楽賞」の表彰式を11月19日(金)にパレスホテル東京(東京都千代田区)にて開催いたしました。受賞者には、正賞としてトロフィー、副賞として賞金200万円を贈呈いたしました。

ENEOS児童文化賞およびENEOS音楽賞は、1966年に児童文化賞、1971年に音楽賞を創設して以来、約半世紀にわたり、わが国の児童文化・音楽文化の発展に大きな業績をあげられた個人または団体を顕彰してまいりました。



ENEOSホールディングス株式会社

広報部 広報グループ 〒100-8161 東京都千代田区大手町一丁目1番2号 TEL: 03-6257-7150 www.hd.eneos.co.jp

<第56回ENEOS児童文化賞・第51回ENEOS音楽賞 表彰式開催概要>

◆日時：2021年11月19日(金) 12:00~13:00

◆会場：パレスホテル東京 4F「山吹」

◆選考委員（順不同、敬称略）

【児童文化賞】

野上 暁（児童文化研究家）

仲居 宏二（放送コンサルタント・元聖心女子大学教授）

山極 壽一（総合地球環境学研究所所長）

【音楽賞 邦楽部門】

徳丸 吉彦（聖徳大学名誉教授・お茶の水女子大学名誉教授）

塚原 康子（東京藝術大学教授）

加納 マリ（日本音楽研究家）

【音楽賞 洋楽部門】

関根 礼子（音楽評論家）

中村 孝義（大阪音楽大学理事長・名誉教授）

船木 篤也（音楽評論家）

※関連情報につきましては、こちらのリンクよりご覧いただけます。

https://www.hd.eneos.co.jp/csr/child_reward/

<各賞の受賞者と贈賞理由>

◆第56回 ENEOS児童文化賞：田島 征三 氏（絵本作家）



【贈賞理由】

1965年、絵本『ふるやのもり』でデビュー。1969年、『ちからたろう』で第2回ブラチスラバ世界絵本原画展金のりんご賞を受賞。後に同展国際審査委員を務めるなど日本を代表する絵本作家である。新潟県十日町の廃校を利用した「絵本と木の実の美術館」で「空間絵本」にチャレンジするなど、多様で意欲的な作家活動を展開。〈日・中・韓平和絵本〉プロジェクトを主導し、自作の『ぼくのこえがきこえますか』は、国際的に高く評価されている。傘寿（80歳）を迎えた昨年、少年時の原体験をモチーフにした絵本『つかまえた』で、生きものの命と向き合った生々しい感触を躍動的に再現するなど、デビュー以来半世紀以上にわたって常に斬新で意欲的な挑戦をし続け、絵本文化を牽引してきた功績は高く評価される。（児童文化賞 選考委員会）



ENEOS

◆第51回 ENEOS音楽賞 邦楽部門：清元 美寿太夫（清元節 浄瑠璃方）



【贈賞理由】

清元節の重鎮、清元美寿太夫師は、これまで長い間、清元節の太夫としてその美しいのどで多くの人を魅了している。歌舞伎や舞踊の会はもちろんのこと、素浄瑠璃の演奏会でも美寿太夫師はなくてはならない存在であり、東京をはじめ京都、大阪など、その出演回数は数えきれない。師の安定した語りは高く評価され、40年あまり共に演奏してきた三味線の清元美治郎師と開いた演奏会「二人会」など、一連の活躍で2014年度芸術選奨文部科学大臣賞を受賞、その実力が広く認められた。清元美寿太夫師のこれまでの業績を称えるとともに、師の清元節らしい、情感のこもった節回しを次の世代にもぜひ伝えてほしいと願い、賞を贈るものである。

（音楽賞邦楽部門 選考委員会）

◆第51回 ENEOS音楽賞 洋楽部門 本賞：滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールと沼尻竜典



【贈賞理由】

1998年に「創造する劇場」との看板を掲げて設立された「びわ湖ホール」は、芸術諸分野でまさに創造的な活動を展開し、都市圏の劇場にも増して傑出した存在感を示し続けてきた。特に音楽分野では、専属の「びわ湖ホール声楽アンサンブル」の活動や、初代芸術監督・若杉弘のもと、ヴェルディ日本初演作品シリーズで大きな成果を上げ、つづく第2代の沼尻竜典のもとでも、「リング」全曲などのワーグナーや、近現代のオペラ作品の上演で圧倒的な成功を成し遂げ、今や我が国のオペラ制作や上演において欠くべからざる存在となっている。活動を成功に導いたホールの充実した運営や制作力、ここ10数年、芸術的に牽引した沼尻竜典の秀でた能力を顕彰し、さらなる充実を期待して本賞を贈賞する。

（音楽賞洋楽部門 選考委員会）

ENEOSホールディングス株式会社

広報部 広報グループ 〒100-8161 東京都千代田区大手町一丁目1番2号 TEL: 03-6257-7150 www.hd.eneos.co.jp



ENEOS

◆第51回 ENEOS音楽賞・洋楽部門 奨励賞：広島交響楽団（オーケストラ）



【贈賞理由】

広島交響楽団の近年の進展ぶりは目覚ましい。2017年以降、新設した「音楽総監督」に下野竜也を迎え、秋山和慶体制で培ったアンサンブル能力をさらに向上させた。また「ディスカバリー・シリーズ」も継承・発展させ、演奏機会の希少な作品をトークを交えて紹介、聴衆の関心領域は格段に広がっている。加えて同年より実施した「Music for Peace プロジェクト」を特筆したい。マルタ・アルゲリッチを筆頭に世界的アーティストが演奏会および講習会に参加し、2019年には楽団のワルシャワ公演が実現。原子爆弾被爆75年の2020年には、コロナ禍に直面しつつも被爆ピアノを用いた藤倉大の新作協奏曲「Akiko's Piano」の世界初演を敢行した。地域に、そして世界に密着しながら音楽性を高めてゆく姿勢を支持し、奨励賞を贈る。
(音楽賞洋楽部門 選考委員会)

以上